

2020年度寄附（企業版ふるさと納税）による青森県のまち・ひと・しごと創生の主な取組

持続可能な青森県をめざすSDGs推進事業



■ 県内ではまだ認知度が十分ではないSDGsについて、企業、団体、生徒・学生、行政等における理解促進と実践に向けた働きかけを行いました。

【今からできる！SDGsセミナー】

ピン芸人、時事YouTuber、（株）笑下村塾代表取締役として活躍する たかまつ なな 氏を講師に迎え、一人ひとりが目標達成に向けて取り組む

SDGsで社会を変えるためには？



必要性についてお話しいただいたほか、（株）リコー様から自社及び県内の取組事例を紹介いただきました。（116名参加 ※ワライ含む）

■ 青森支社独自のオリジナル方言の貼り紙 RICOH



開催後のアンケートでは、「世界の状況や取組が参考になった」「できることから始めたい」などの感想を多数いただきました。

【「SDGs de 地方創生」ワークショップ】

県職員、県内企業、生徒等による混合グループを作り、立場や年齢を超えて協力して行動するカードゲームを行い、様々な主体が連携して取り組む重要性についての理解を深めました。（38名参加）



【R3年度の取組】

引き続き、普及啓発に向けたセミナー、ワークショップを開催します。

また、より身近な取組であることを周知するため、青森県内の具体的な事例を紹介する事例集を作成し、取組拡大に向けた情報発信に力を入れていきます。

北海道・北東北の縄文遺跡群の世界文化遺産登録に向けた取組



■ 2021年の世界遺産登録に向けた気運醸成のプロモーションと、縄文遺跡群を次世代に伝える取組を行いました。

【青森の縄文遺跡群イメージソング&PR MOVIEの公開】

縄文遺跡群に興味・関心をもってもらい、遺跡へ来訪していただくため、イメージソングを制作するとともに、本イメージソングにのせて、ご当地アイドルのりんご娘が、遺跡を舞台に歌とダンス、遺跡の空撮や出土品など圧倒的な映像美で遺跡を紹介するPR MOVIEも制作しました。

（PR MOVIEの視聴回数：約31万回 [R3.4.2現在]）

■ PR MOVIE (R3.2.20公開) は以下からご覧いただけます。

県YouTubeチャンネル

「JOMON AOMORIみんなであそぼう世界遺産！」

YouTube検索 JOMON AOMORI



【縄文「体感」世界遺産講座の開催】

縄文遺跡群を人類共通の宝として次世代へ引き継ぐため、青森県内の児童生徒、県民等を対象に、縄文遺跡の価値や縄文文化の魅力に触れ・理解を深める出前講座を開催しました。（14団体、766名受講）



【深知り！三内丸山遺跡（イベントの開催）】



縄文の価値や魅力の「体感」をキーワードに、ホンモノの出土品に触れることができるブースの設置や、いつもとは一味違った三内丸山遺跡を周遊する「リアル宝探し」を実施し、多くの方にご来場いただきました。

【R3年度の取組】

引き続き、2021年（R3）の世界文化遺産登録を目指し、気運醸成の取組を進めていくほか、縄文遺跡群を次の世代に引き継いでいくための保護意識の醸成、三内丸山遺跡の価値や魅力の発信に取り組めます。

県民みんなが考える「いいよね青森」推進事業



■ 若者の県内定着・還流に向け、青森の過去と現在の違いや青森の価値・魅力を発信し、「青森は良い方向に変わってきている」ことへの理解を広げる取組を行いました。

【青森の魅力を伝える学生向けワークショップ】

学生や保護者に対するアンケート調査や、学生への対面インタビューなどのリサーチ活動のほか、県内で働く社会人との対話を通じて青森の魅力を伝える学生ワークショップを開催しました。（アンケート調査配付数：約1万名）（インタビュー：11校、ワークショップ：8校）



【青森の価値や魅力、「変わってきた青森」の発信】

多くの県民に青森への価値や魅力を発見し、「変わってきた青森」を実感してもらうため、各種イベントやTVCM・新聞広告などにより、幅広く情報発信しました。

【ファンミーティング】

2会場各20名

【フォーラム】1会場50名

【ミニ番組】4本×1局

【TVCM放映】各25本×3局

【新聞】全3段×4回

【インスタキャンペーン】

1020投稿



【R3年度の取組】

県民に青森への自信と誇りを持っていただけるよう、引き続き、ワークショップやフォーラムなど県民参加型のイベントを開催するほか、TVや新聞など幅広く情報発信を行っていきます。